

東白川村 美しい村づくり 委員会

第83回

- 場 所：神土交流サロン（ふれあいサロン）
- 時 期：令和6年3月26日 19:00~20:30
- 参加者：委員3名 行政担当3名 一般：2名

【今年度の新しい取組み】

- ・ ・ 暦こよみくらす（東白川村の暮らしや文化の体験イベント） ・ ・

村の方と移住者を中心とした方を「つなぐ」きっかけや場づくり、村の伝統や文化を後世に伝えることを目的とし、村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベントを令和5年度から年に6回開催し2年間で12回実施を目標とします。

第1 村長あいさつ

皆さんこんばんは。もうすぐ4月ですが寒い日が続きますね。いつも夜分にお集まりくださりありがとうございます。3月は年度替わりのため、各事業の確認や、人事異動による引継ぎなど大変慌ただしい時期となっています。そして、来週には令和6年度がスタートします。

最近の活動としまして、3月9日に美しい村づくり講演会を開催しました。今回のテーマは「子育て・保育」としまして、名古屋学芸大学の先生を講師にお招きし、50名ほどの参加となりました。また、先週には白川町黒川への視察が行われました。今年度からスタートした暦くらすでは、移住者のみならず、村の方の参加も見られ大変喜ばしく、活発に活動されています。漁協からは、鮎の友釣り体験が、暦くらすで実施されたことに大変良かったとのご意見もいただいています。

東白川村は、NPO 法人「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、令

和 6 年度には、美しい村連合による再審査が実施されます。住民活動をされている方への、意見交換会など行われるかもしれませんので、その際は、ご協力お願いいたします。

令和 6 年度の村づくりを紹介します。はじめに人口問題です。昨今の市場経済状況等をみていますと、やはり都市部一極集中であると見てとれます。国は都市部一極集中を是正し過疎化を緩和する施策を実施してきましたが、状況は変わっていないように思います。本村の人口は、1990 年代後半まで 3000 人を保っていましたが、現在は約 2000 人まで減少しています。人口減少を抑えつつ、3000 人サイズから 2000 人以下へのハードや仕組みを含むリサイズが重要となってきます。また、村の大きな価値である自然を未来に残していくことにも、引き続き取り組んでいきます。林業ではカーボンオフセットなどに取り組んでいますが、田んぼも対象に入れた取り組みを準備しています。そして公共交通です。村内にバス巡回ルート 5 路線をひき、村の方が誰でも利用できるサービスを令和 6 年 10 月開始の予定としています。ふりかえり確認しますと、来年度は、人口問題、リサイズ、子育て、自然、公共交通に取り組んでいきます。本日もよろしくお願いいたします。

第 2 白川町黒川視察のふりかえりと共有

事務局から、3 月 21 日に実施した白川町黒川への視察内容を、スライドを使用してふりかえりと共有を行いました。

(令和 6 年度視察予定先：日本で最も美しい村連合加盟町村)

○長野県南木曾町

○長野県大鹿村

第 3 こよみ 暦くらす (暮らしの体験会)

村の方と移住者を中心とした方を「つなぐ」きっかけづくりを目的とし、村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベントを令和 5 年度から年に

6回開催し2年間で12回実施を目標としています。運営は、事務局と委員が協働で実施していき、村の方が村でやりたいことを実現する場を設定し活動していくことで、官民協働活動と位置付けています。

〈年間スケジュール〉

令和5年度					
朴葉寿司	鮎の友釣り	母樹林 ウォーキング 雨天中止	しめ縄	味噌づくり	母樹林 ウォーキング 開催中止
令和6年度					
野草 山菜	茶	紅葉 ウォーキング	発酵食	こんにゃく	林業

1 山菜について

イベント決定内容をお伝えし、スタッフ協力をお願いしました。

〈前回の意見等〉

- ・ 栗本重秋さんに総合的にアドバイス等を伺う。
 - 栗本重秋さんに意見等を伺った。下記掲載。
 - ・ 山菜等を採取するので、村有林内で実施。
 - 散策可能な村有林には山菜がほぼ自生していない。
 - 山菜体験から母樹林散策（生活について）に変更。
 - ・ 調理は現地で天ぷらを揚げる。
 - 山菜が無いため、山菜弁当を発注するが委員に伺う。
- ※最近の寒さを勘案すると6月開催が望ましい。（重秋さんコメント）

2 釜炒り茶について

依頼先の2名の方との打合せ内容を報告しました。

参加費について委員等に伺ったところ、1000円くらいでいいのではとの意見がありました。茶摘み、釜炒り、手揉み、乾燥を終え、参加者同士でお茶を味わうところまで体験したいとの意見があり、そのように計画していきます。昼食は参加者の注文制にする予定です。

第4 雑談から生まれるワークショップ「私の近況報告」

- ・購入した空き家（日向）の裏水路など整備作業しています。
- ・敷地に生えるワラビが待ち遠しいです。去年は、道の駅へ出荷するタイミングが遅かったので、今年こそはいいタイミングで集荷します。
- ・森林文化アカデミーの学生さんとも作業していて、その学生さんが、村に関連するテーマで卒論が書けないか探っています。
- ・村でお米作りをしたい。
- ・村の名人のところで草鞋^{わらじ}づくりを体験しました。
- ・以前も話題がでましたが、村内の湧き水スポットを調査してみたいです。みんなが知っていて利用できる湧き水がいくつもあればみんな助かると思います。

水利権と水質の問題がありますが、東白川村がんばる地域補助金で湧き水水質検査をして、湧き水スポットづくりができないかなと思いました。

→ 水利権や水質の問題がハードル高いですね。

→ 生活に利用できる湧き水があるのは、安全安心のひとつですね。

- ・都市部の友人とも話していますが、大災害や疫病、戦争など社会情勢への危機感や不安を抱いています。みんなはどのように考えているか聞きたいです。以前は村が安全かなと思っていたけど、都市部も村もそのような状況になったら同じだと思います。話し合っただけの心の準備が大切だと思います。
- ・水についてもう一つ。人は水を汚していることを自覚することが大切だと思います。大きな工場だけが汚しているのではなく、私たちの普段の生活は水を汚していることを認識することが大切で、子供たちにも伝えていきたい。

第5 清流の国文化祭について

コミュニケーターの樋口（事務局）から、オブジェ制作に関するコアメン

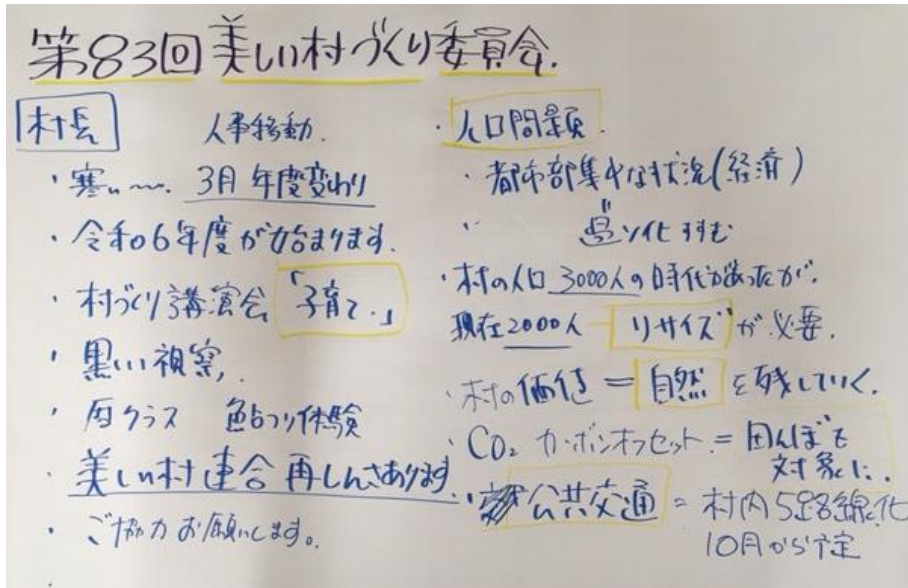
バー募集の案内を行いました。

第6 閉会 (21:00)

〈次回〉 第84回 4月16日(火) 19時から

東白川村役場別館3階会議室

「がんばる地域補助金プレゼンテーション:読み聞かせボランティア」



以上